



2025年2月号

Vol. 234

arch-tsushin

あーち通信

20周年記念 アイデア大募集!

今年の9月であーちは開所から20年を迎えます。これを記念して、楽しいイベントや特別プログラムをたくさん予定しています。

今回新しい試みとして、利用者のみなさまによる企画を募集したいと思います。特技や趣味を活かして、ご自身でプログラムを行ってみませんか。例えば、写真の撮り方セミナー、読み聞かせの会、ミニコンサートなどなど…。あーちのスタッフもお手伝いいたします。

また、「おとな向けのプログラムが欲しい」「こんな記念品があったらいいな。」など、みなさまのご意見アイデアも募集していますので、お気軽に受付スタッフまでお声がけください。



Message from U.S.A.~

映画の主人公が戦ったために沢山の埃が飛んで来て、バス停で並んでいる人たちが真っ黒に服を汚され、でも、この洗濯洗剤で洗えばこんなにきれいになるよ、という趣旨のCMがあります。この人たちは、服を汚されて”Here we go again.”と言っています。”Here we go again.”は、嫌なことが繰り返しあるときに言う「またか。」「また、始まったよ。」「まいったな。」という意味になります。これに似ているのに全く違う意味をもつのは、”Here we go.”です。”Here we go.”は、「さあ。」「さあ、始めよう。」「さあ、行くよ。」という意味で何かを始めるときに使います。”again”があるのとないのとは、全く違いますね。さて、2月3日は、もう立春です。”Here we go. Let’s enjoy spring”「さあ、春を楽しみましょう。」

(アメリカ イリノイ州在住 東口たまき)

えんじえる君II by Bon



神戸大学大学院サテライト施設「のびやかスペース あーち」
〒657-0832 神戸市灘区岸地通 1-1-1 灘区民ホール 3 階
TEL&FAX 078-805-6090
HP <http://www2.kobe-u.ac.jp/~zda/arch-prep.html>
開館日 火~土曜日(月曜、日・祝除く)

神戸大学大学院人間発達環境学研究科
ヒューマン・コミュニティ創成研究センター
〒657-8501 神戸市灘区鶴甲 3-11
TEL 078-803-7970
FAX 078-803-7971

2月予定表

		こらぼ・あーち	ふらっと・あーち
1	土		あらかると音楽遊び 14:30~15:00
2	日	休 館	
3	月		
4	火	あーち人形劇団「むー」(練習) 14:00~16:00	
5	水		
6	木		健康あーち(相談) 午前中 ベビーマッサージ 14:00~15:00
7	金	よる・あーち 17:00~19:20	
8	土	おはなしの国 11:00~11:30 いのちをつなぐイベント(準備会) 午前 (ゆーす・あーち) ぽつとらつく 13:30~15:00 (ゆーす・あーち含む)	
9	日	休 館	
10	月		
11	火		
12	水		
13	木		
14	金	よる・あーち 17:00~19:20	ベビーマッサージ 14:00~15:00
15	土	プラレール広場 10:30~16:00	
16	日	休 館	
17	月		
18	火	あーち人形劇団「むー」(練習) 14:00~16:00	
19	水	月イチwith 10:30~12:00	保健師さんとお話ししましょう 11:00~12:00
20	木		
21	金	よる・あーち 17:00~19:20	リフレッシュYOGA 10:45~11:45
22	土	おもちゃ病院 13:00~15:30	
23	日	休 館	
24	月		
25	火		ふらっとリトミック 11:00~11:30
26	水		
27	木		
28	金	よる・あーち 17:00~19:20	

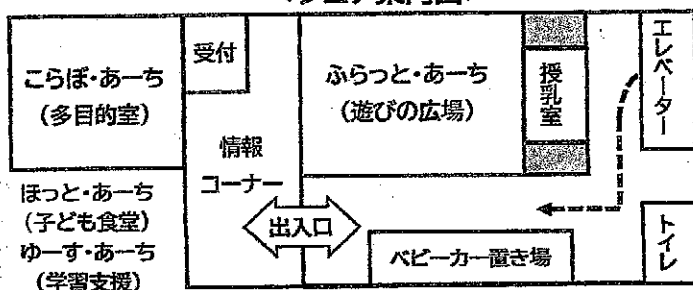
- ・プログラムは自由に参加・見学ができます。年齢制限はありません。また、都合により変更することがあります。
- ・ふらっと・あーちでプログラムが行なわれている間、プログラムに参加されない方もふらっとを利用できますが、遊べるスペースは狭くなります。どうぞご了承ください。

※ベビーマッサージに参加される方は、お子さんに合ったベビーオイルと、バスタオルを1枚お持ちください。

また、初めてあーちを利用される方は受付に10分ほどかかりますので、開始時刻より早めにご来館ください。

※リフレッシュYOGAに参加される方は、ヨガマットやバスタオルなどの敷物を1枚お持ちください。

<フロア案内図>



ふらっと相談員

～お気軽にお声がけください～

水曜 午前 保健師・保育士

水曜・木曜・土曜(不定期) 助産師

お電話でも相談できます



<プログラムのご案内>

- ★あーち人形劇団「むー」…あーちに来ているみなさんと、一緒に楽しく人形劇遊びをしませんか？それぞれ自分の好きなこと、できることを持ち寄って気軽に参加してください。
- ★あらかると音楽あそび…手作り紙芝居や大型絵本に、おもしろい音や音楽を合わせた楽しい音楽遊びです。
- ★おはなしの国…ろうそくが灯ったらおはなしの世界のはじまりです。(絵本の読み聞かせ)
- ★おもちゃ病院…ドクターが壊れたおもちゃを治します。(当日の修理はできません。)
※おもちゃ病院の情報は Facebook 神戸・灘おもちゃの病院 でご覧ください。
- ★健康あーち(相談)…大学教員(公認心理師)が「ふらっと」でみなさんと交流します。日頃のモヤモヤする気持ちや健康にまつわることなど、ゆっくりお話ししましょう。
- ★月イチwith…参加者それぞれの困りごとと悩みごとについて語り合い、お互いに元気を分かち合いましょう
- ★ふらっと リトミック…リズムを感じて自由に体を動かしましょう！赤ちゃんは抱っこでも参加できます。
- ★プラレール広場…広いマットの上で自由に電車遊びができます。(係員は不在です。)
- ★ベビーマッサージ…赤ちゃんをやさしくマッサージしながら、親子でふれあいの時間を楽しみましょう。
- ★保健師さんとお話ししましょう…保健師が月1回、健康に関するお話しをします。個別のご相談もどうぞ。
- ★ぽっとらっく(要予約)…発達が気になる子どもと保護者のための教室。保護者が講習会やグループトークに参加している間、お子さんはボランティアによる託児プログラムに参加できます。
- ★よる・あーち…「居場所づくり」「学習支援」「子ども食堂」を一緒にしたプログラム。いろいろな年齢の参加者が交流し、学びあっています。
- ★リフレッシュYOGA…肩こり・腰痛を軽くするポーズを中心にした、自宅でも簡単にできるYOGAです。



「おにたのぼうし」

作:あまん きみこ

絵:岩崎 ちひろ

ポプラ社 1969年7月発行

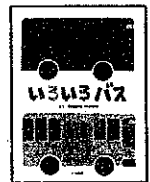


子どもの頃、豆まきはとても楽しい行事でした。「鬼は外、福は内。」の声も賑やかに、家中に豆をまき、鬼が玄関から逃げていくと歓声を上げたものです。子どもにとって鬼は悪者でした。表紙の「おにた」はとても可愛いらしい子どもの姿です。優しい「おにた」は気づかれないように、こっそり人々を助けます。そして節分の日、お腹をすかせた少女のために、姿を偽ってごちそうを届けますが…。思いやりや優しさ、無知や偏見について、考えさせられる物語です。岩崎ちひろさんの描く淡く儚い絵が、この物語をより一層切ないものにしています。

「いろいろバス」

作:tupera tupera

大日本図書 2013年5月発行



いろいろバスのお客さんは、いろいろです。赤いバスから降りてくるのはトマトだし、黄色いバスに乗るのはきらきら星です。

終点は、いろいろなバスから降りたお客さんでいっぱい。ひとつひとつ、これはなに？と探すのも楽しそうです。それぞれの形はシンプルに描かれていますが、同じ色でも、描かれたものによって少しずつ色味が違うなど、細かく表現されています。

作者の tupera tupera さんは「しろくまのパンツ」や「パンダ銭湯」(どちらもあーちにあります。)でおなじみですが、クスツと笑える独特の世界観をもつ2人組の作家さんです。

(あーちスタッフ 山名)

第46話「結婚は条件じゃないよ」

なんとなく気が合わない母との関係を未消化にしつつも、夫と結婚したのが20年前。結婚相手すら文句を言われるんじゃないかとヒヤヒヤしていたのは全くの杞憂におわり、両親は夫を歓迎してくれました。ヒョロっとひ弱そうに見える夫が、実はちょっとやそつとでブレることがない自己を持っていることを見抜いたのだと思います。でも突然、神戸に引っ越すことになったり、家庭の事情で会社を辞めなくてはならなかった背景を思うと、良い結婚の条件に当てはまっていたはずなんです。

「結婚は条件じゃないよ。条件なんていくらでも変わるから、結局は人柄だよ。」という言葉は、尊敬できる部分が多くはなかった母の数少ない名言でした。母にとっても、父は良い結婚条件の相手ではなかったそうで、お見合いが一般的だった時代、父の実家を良く思わない母の家族はおおいに反対したそう。好条件の男性とも会ったらしいのですが、相手に違和感を抱えた母は、人柄の部分でピン！ときた父との人生を選んだそうです。

大金を稼いできたとしても、上手にお金と付き合える人じゃないと苦労するのは目に見えている。外面よくても家で横柄な振る舞いをするような人だったら耐えられない。高身長、高学歴、高収入の3高という条件がもてはやされた時代があったそうだけど、見た目なんて年取れば衰えるし、収入なんて一生約束されているものでもないし、学歴だって所詮

は1つの目安にしかならない事を理解できない人だったら鼻についてしかたがない。

母が苦手だと感じながらも、そんな風に男性への眼差しを継承してしまっていたんだ……。20年、色んな課題に夫と向き合ってきて、何度もケンカしたけれど、夫の人柄への敬意は無くしたことはなかったから、それすらも、親から受け継いだ恩恵だったんだと気がつきます。だったら、私のご機嫌でいられるのは、やっぱり私だけ頑張ったのではなく、私だけが人を見る目があったわけじゃなく、生きる知恵として親から教えてもらっていたことです。

そんな両親は、障害ある息子たちを否定せず、かわいがってくれています。「なんとかなるよ。この子たちの人生があるから。」なんて言う母（私にはそんなこと思ってなかったくせに）。本当に困ったときは横浜から泊まりで助けに来てくれたんだから、やっぱり毒親なんかじゃなかった。十分すぎるほど恵まれているんだな。

本棚にあるドロシー・ローノルトの「子どもが育つ魔法の言葉」を読んだ後に、「全部逆のことをしてきたわ。」なんて言う母に、「ホントだよ。マジでありえないお母さんだったよね。」と軽口で返せるようになって、遅すぎる反抗期を楽しめるのが嬉しいな。同じく次男も反抗期。私が間違った時にちゃんと怒ってくれる様子に安心しています。



<あーち利用のご案内>

利用時間 火～土 10:30～16:00（ランチタイム 12:00～12:45）

※ランチタイムの間は、おもちゃで遊ぶことはできません。

金曜日のみ 17:00～19:20 よる・あーち（居場所づくり・学習支援・子ども食堂）

注意事項 オムツやゴミは各自でお持ち帰りください。灘区民ホール内では捨てられません。託児は行っていません。安全のため、お子さんの見守りをお願いします。未就学のお子さんが遊ぶときには、保護者の付き添いが必要です。

